



市川市議会議員

市政報告

No.62

令和5年4月1日発行

稲葉健二

272-0021

市川市八幡2-2-10

TEL 047-333-1783

FAX 047-334-1990

MAIL kenjiinaba@aol.com

ご意見・ご要望  
ご相談等、気軽に  
ご連絡下さい！

# 稲葉健二の ひと言メッセージ

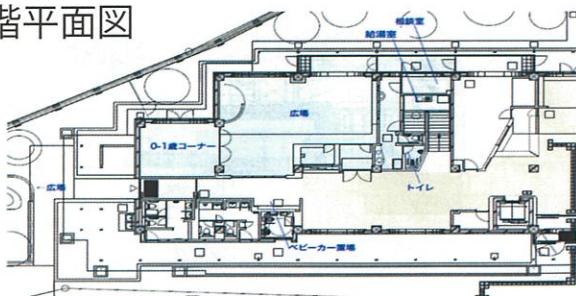
## 〈仮〉市川市八幡市民複合施設の特集です

現在市川市は葛飾八幡宮の中にあつた市の施設（八幡分庁舎・中央公民館・さわやかハウス(公衆トイレ)・児童遊園地）の建替えを進めています。老朽化していた施設をまとめたかたちで複合施設として整備するものです。解体工事が終わって更地になっていますが、今年の8月頃に着工を予定、令和7年の2月に開館を目指しています。建設費の高騰や資材の高騰・確保の問題などで工事の進捗が遅れています。

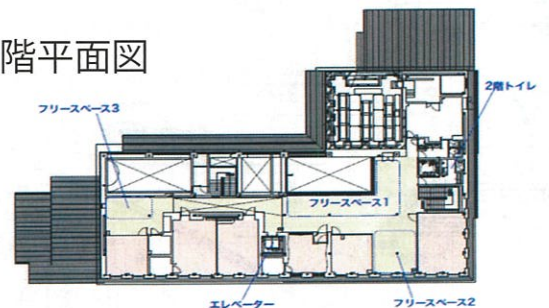
新しい施設は、今までの公民館と親子集いの広場の建替えではなく、新しいかたちの複合施設を考えています。また、神社の中にある施設としての外観なども考慮に入れています。今まであつた公園（児童遊園地）、親子集いの広場をグレードアップして、利用できる子どもの年齢層の拡大や広さに加えて、新しい機能として子どもの相談機会をつくれる部屋と運用、貸出施設に音のだせる部屋や可変式に広さをつくれる部屋などを中心に整備される予定です。また、貸出部屋の不足に対応できるようにフリースペースを活かした新しい運用も検討しています。公衆トイレは複合施設の中に設置を予定しています。

この複合施設は、子どもたちのための部分と市民の方の貸出スペース、そして多世代の方たちが交流をもてるなどの新しいかたちの運用を目指していますが、実際の利用がはじまると想定とは違うケースも考えられます。その際には状況にあつたかたちで運用ができ柔軟な対応ができることを要望しています。市民の方が使いやすく、神社の中で安心して子どもや大人が利用できる複合施設に期待しています。

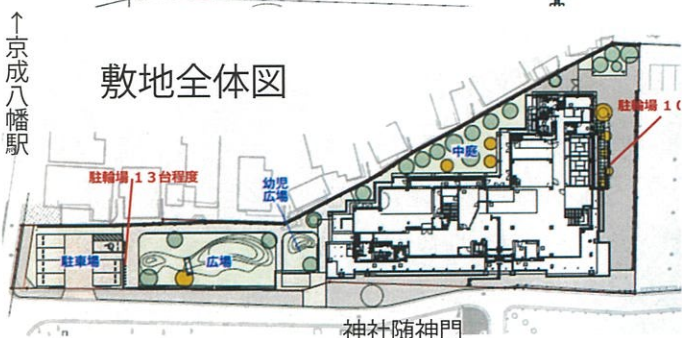
1階平面図



2階平面図



敷地全体図



↑京成八幡駅



# 令和5年2月議会 会派代表質問通告

## ○施政方針について

### (1) デジタル地域通貨の実証実験について

ア. 実証実験の目的と効果について イ. 市内経済と市民活動への施策について ウ. 健康寿命日本一に向けての施策との連携について

### (2) 水辺のまちづくりについて

ア. 水辺環境を生かした施策の考え方 イ. 市民の声を生かせる進め方

### (3) 地域の安心・安全について

ア. 防犯灯、カメラ付きの防犯灯の考え方 イ. 防犯パトロールの効果と今後の方向性

ウ. ボランティアやマナーサポーターも含めた市民の関わり方

### エ. 自治会との協働の考え方について

### (4) ごみ処理、ごみの資源化について

ア. ごみ処理施策の考え方、今後の方向性 イ. 大型ごみの受け入れや資源ごみの集積について

### (5) 空き家対策について

ア. 市が考える空き家対策について イ. 地域や不動産業者との連携について ウ. 市ができる施策の考え方

## ○議案第47号 市川市犬猫いのちの基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

### (1) 条例の目的、効果について (2) 具体的な施策につなげる考え方

## ○議案第56号 市川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

### (1) 改正の内容、改正後の具体的な進め方 (2) この条例で対象にならない放課後児童健全育成事業への考え方について

## ○高齢者への相談支援について

(1) 後期高齢者対応ワンストップサービス窓口について (2) 部をまたいだ専門性をもった対応サービスについて

### (3) 外部関係団体との連携、情報共有について

## ○高齢者の社会参加と介護予防について

(1) 現状と課題について (2) シニアカレッジについて

## ○芸術文化振興について

(1) 市川市芸術祭・文化祭について (2) 芸術文化市民団体へのサポートについて

## ○オストメイトの方への支援について

(1) 平常時のサポート・災害時のサポートの考え方 (2) 関わる部の連携のあり方について (3) 備蓄や災害時の配送支援などの考え方

## ○ペットについて

(1) 犬の登録、狂犬病の予防接種の現状と考え方 (2) 災害時のペットの対応について (3) 災害時用猫の登録制度の創設について

### (4) ペットの苦情対応について

## ○子どもの放課後の居場所について

(1) 放課後子ども教室の現状と今後の方向性について (2) 他の同様事業との棲み分け、地域力の活用方法・考え方 (3) 災害時の対応について

## ○特別な支援を必要とする子どもについて

(1) 特別な支援が必要な子どもの考え方、支援の方向性 (2) 就学までの相談機能について (3) 未就園児、グレーゾーン児への対応について

## ○(仮)八幡市民複合施設について

(1) 複合施設としての運用、管理について (2) 周辺の交通動線や地域の課題について (3) 今までの施設との違い、この施設に求めるものについて



YouTube ページ  
令和5年2月議会

## 災害に強い街づくりについて

現在市川市の人口は50万人に近づいています。千葉県で4番目ですが、人口の密度では、千葉県で2番目です。災害が起きた際に地域によって被災の状況はかわると予想されています。市川市は北部・中部・南部と分けた場合は、人口が集中している中部では、避難所などの収容数などに余裕がなく、自宅が大丈夫な方は在宅避難を優先しない限り対応は難しくなります。ただ、支援物資などは防災拠点を中心に考えられており、その拠点と地域の自治会などがつくる拠点とを結ぶシステムを構築する必要があります。加えて、災害が発生し避難所が開設された際に運営をするスタッフが必要となります。現在地域の自治会の方たちを中心に小学校区防災拠点協議会を進めています。自治会との連携と防災拠点を運営する役目を担うこととなります。一部の小学校区防災拠点協議会はまだ設置されていないところもあるようです。避難所になる小学校などは、体育館の冷暖房が完備されていないので、現在市では冷暖房工事を進めています。また、トイレですが洋式化が完全ではないので和式のトイレが使えない方の問題も残りますし、オストメイトの方たちのための多機能式トイレはありません。議会でトイレの洋式化や多機能式トイレの設置を提案しています。加えて防災備蓄の中にオストメイトの方が必要なストーマも備蓄することと、サイズや種類があるので避難所ごとの在庫情報管理や他市で在庫しているものを融通し合えることも提案しています。自宅の状況が許せば在宅避難が安心ですが、それがダメな場合のためにいろいろな角度で準備をすることが必要であると思います。地域の方のために地域力を合わせて災害に強い街づくりを進めていきます。

